

困らせているのでは ありません いたって真剣です



目の前にある食材に気がついた時、
どうしたらそれを口に入れられるのかを考え、
手が届く距離を考え、
どんな握力でつかむのかを考えます。
つかんだものを口に運び、
口に届いたタイミングで口を開けて、
それから咀嚼をし、ごっくんする。
この過程を私達は無意識に行っています。
実は赤ちゃんにとっては難しく、
日々試行錯誤しています。

